

「未来への挑戦を続ける」

日頃より、私たち県議会自民党会派を力強く支援してくださっている県民の皆さまに心から御礼申し上げます。昨年は、アメリカ合衆国の第45代大統領に政治経験のないドナルド・トランプ氏が選出されたことや、EUからの脱退を決めたイギリスの国民投票結果など、世界中が大きな衝撃を受けた年でした。こうした世界経済や国際情勢下にあっても「安定した政治」の継続により、地域経済を成長させ、地域の活性化や地域住民の生活を豊かにしていくことが、わが党に課せられた責務であると考えております。

日本の総人口が初めて減少に転じ大きな転換期を迎える中で、本県においても、経済規模の縮小や地域活力の低下がますます懸念される状況となっており、秋田県では、「産業振興による仕事づくり」、「移住・定住対策」、「少子化対策」、「新たな地域社会の形成」の四つの基本目標を掲げ、攻めの取り組みを展開しているところです。

私たち県議会自民党会派は、県民の皆さまとの意見交換や対話集会をとおして、活力ある秋田を目指して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻をくださいますようお願い申し上げます。

平成二十九年
新春



あけましておめでとうございます

新しい年をお迎えし、いかがお過ごしでしょうか。昨年は、熊本地震や度重なる台風など実に災害の多い年でありました。それでも横手は直接的な被害もなくほっとしました。また世界に目を向けますと、過激な発言で話題となったトランプ氏がアメリカの大統領選挙に当選し世界を驚かせました。イギリスのEUからの離脱も大きな話題となっています。変えたいとか変りたいという思いが充満しているのでしょうか。

さて、今年の9月におおむね60歳以上の方が中心ですが、国体のシニア版といわれる「ねんりんピック秋田大会」が開催されます。これはあらゆる年代の人たちが楽しみ、文化を深めることができるスポーツと文化の祭典です。健康的な社会を作り上げるために大いに盛り上がってほしいと考えております。実は、私は12月議会の一般質問で、がん対策の一環として、これまで取り組んできた「がん検診率」の向上対策に加えて、がん予防に力点を置いた対策を推進し、「健康長寿日本一」を目指すべきと提案させていただきました。来年度から県民運動としてがん予防が浸透できればと思っています。

今年も皆様方にとりましてよい年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



秋田県議会議員

鶴田 有司